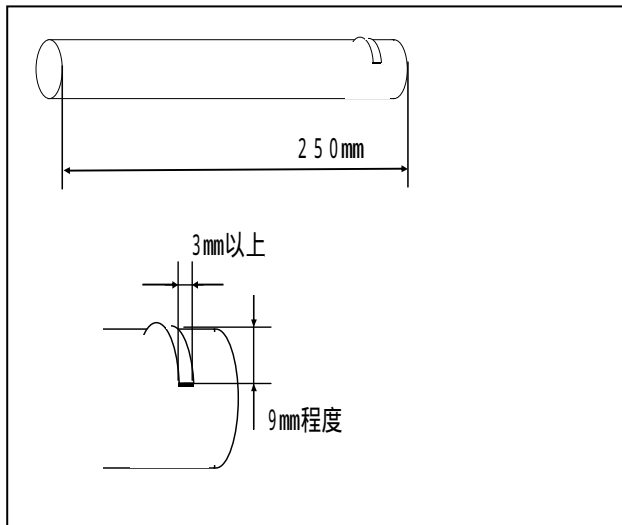


大野見方式イノシシ侵入防止柵の作成上の留意点について

塩ビ管の加工

図1 塩ビ管の加工



手順

1. 塩ビ管を250mmの長さに切断します。
2. 電牧線を通す溝を刻みます。

注意

溝は電牧線の直径(今回は3mm)程度の幅に刻みます。

使用資材

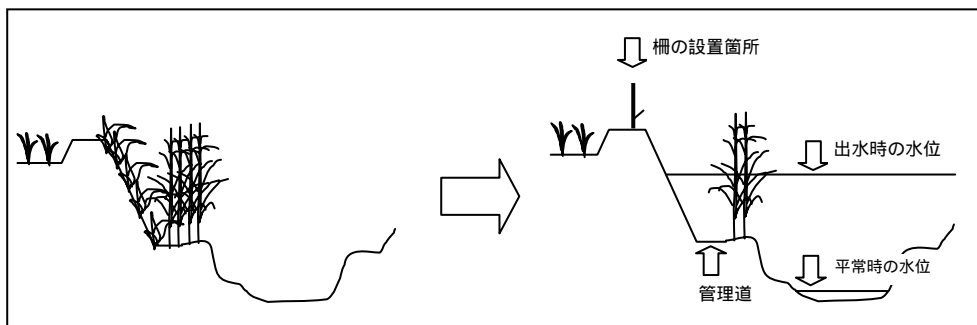
硬質塩化ビニル管(呼び径13×外径18×肉厚2.5×長さ4000)

使用工具

切断機

設置場所の選択及び準備

図2 設置場所の選択及び準備



手順

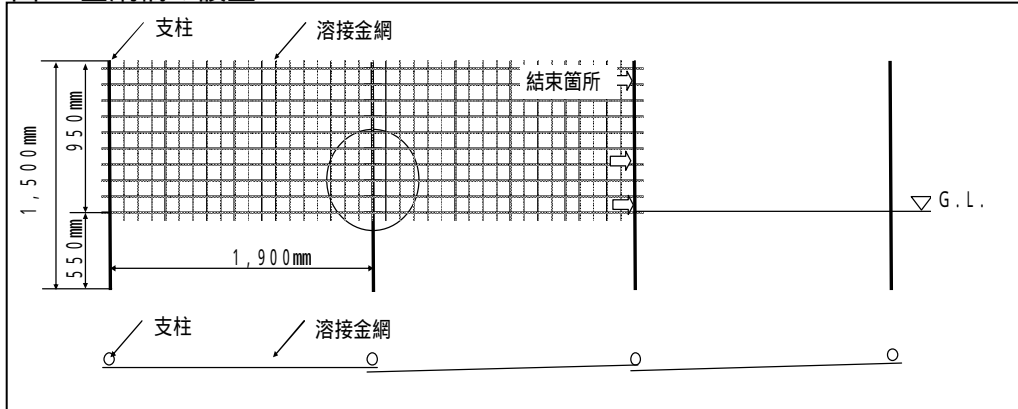
1. 柵の設置箇所を決定し、付近の除草をします。
2. 管理道を柵の外側に整備します。

注意

柵の設置箇所は、増水しても水没しない箇所にします。
除草や見回りに管理道があると、非常に便利です。

金網柵の設置

図3 金網柵の設置



手順

1. 支柱を1900mm間隔で550mm地面に打ち込みます。
2. 溶接金網を支柱に結束し、固定します。

注意

溶接金網設置の際、溶接金網の突き出し部分が、地面に刺さるように足で踏み込みます。

使用資材

溶接金網メッキ仕様(線径4.0mm網目100mm×100mmタテ1000mm×ヨコ2000mm)
異形棒鋼(D13 L=1500) 結束線(#19 1kg巻)

使用工具

ペンチ、ハンマー

金網の切断

図4 金網の切断

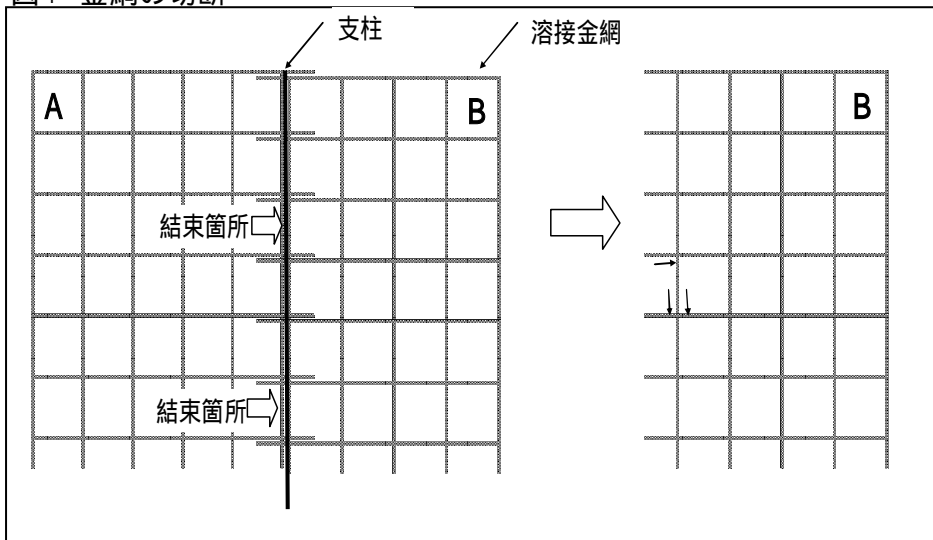


図3の で囲まれた部分の拡大図。金網A、Bは支柱部分で重なっている。
そのうち、切断する金網Bを右に抜き出した。

手順

1. 、 、 を切断します。

注意

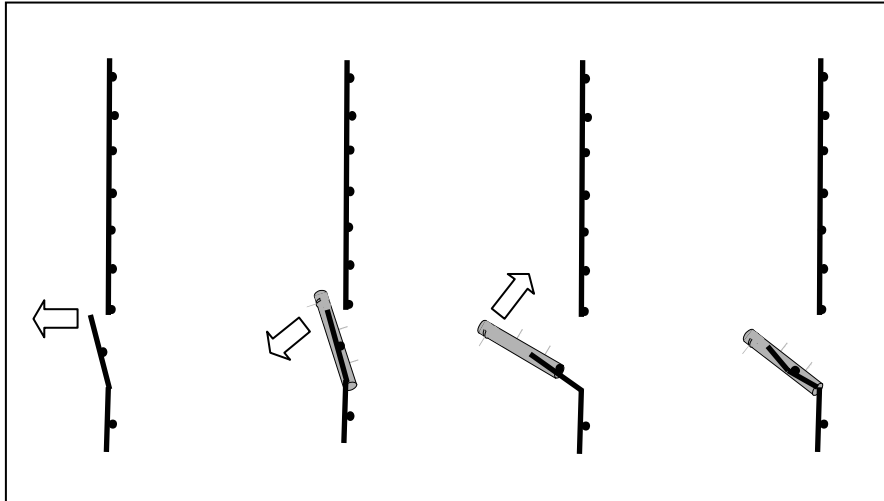
、 間の長さは、塩ビ管の内径(13mm)より短くしてください。

使用工具

ボルトクリッパー

塩ビ管の金網への取り付け方

図5 塩ビ管の取り付け



手順

1. 金網の切断した部分の上端を矢印方向に曲げます。(図5 -)
2. 加工済みの塩ビ管を挿し込み、矢印方向に曲げます。(図5 -)
3. 塩ビ管を用いて、金網を湾曲させます。(図5 -)
4. 再度、塩ビ管を挿し込みます。(図5 -)

注意

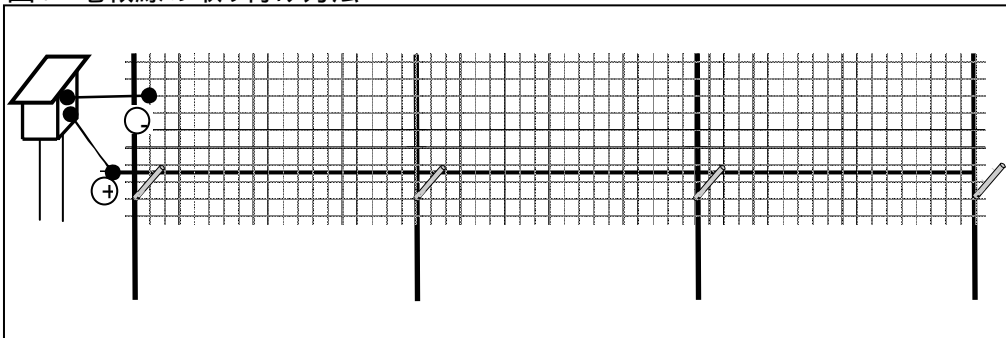
塩ビ管を挿し込む金網を湾曲させることにより、塩ビ管の内側と金網がきつく接触するようにします。

使用資材

加工済みの硬質塩化ビニル管

電牧線の設置と本体の接続

図6 電牧線の取り付け方法



手順

1. 塩ビ管の溝に電牧線をはめ、エスタイで固定します。
2. 電牧器本体のプラスを電牧線にまた、マイナスを金網にそれぞれ接続します。

注意

金属と電牧線が接触しないこと。(特にコーナーや出入口)

使用資材

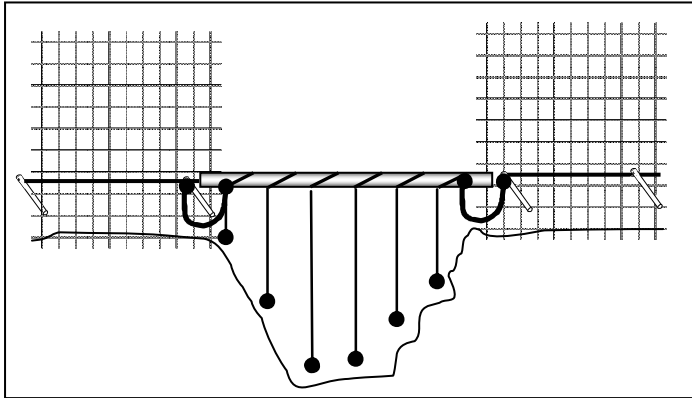
電気柵本体、電牧線(3mm巻取りが容易なもの)、土中埋設コード、エスタイ、ビニールテープ

使用工具

ニッパ、ワイヤーストリッパー

スタレ状電牧柵の加工

図7 スタレ状電気柵の加工方法



手順

1. 塩ビ管を谷に渡し、固定します。
2. 渡した塩ビ管に電牧線を螺旋状に巻き固定します。
3. 螺旋状に巻いた電牧線にスタレ用電牧線を取り付け、先端に錘を結び垂直に垂らします。

注意

増水時は、水没し漏電が発生します。
イノシシに侵入される場合は、侵入側に2重3重のスタレを設置し、近寄れないようにします。

使用資材

硬質塩化ビニル管、異形棒鋼、電牧線、土中埋設コード、鉛、結束線、ビニールテープ

使用工具

ハンマー、ペンチ、ニッパ、ワイヤストリッパー